

編集後記

今回は、ここまで3回、論を進めてきた“我が国推進技術の海外定着への途”での、とどめの追記としたい。その途を進む上での我が国としての「心構え」だ。

我が国推進技術は、長距離推進や曲線推進技術、さらにはその施工における安全性と確実性の確立など、近年の経済発展により、都市の上部機能拡充に追われ、排水基盤整備など下部機能整備が国家的焦眉課題とされる東南アジアの諸都市からは熱望対象だ。だが、これを単なる売り買いの対象と考えてはならない。さもなければ、推進技術を提供する日本にとっても、それを活用する対象国にとっても満足な結果は得がたく、互いの信頼感の醸成は困難だ。

互いに達成感を獲得し、“ウィン・ウィン体感”を実現させるため、日本側としての「心構え」は何か。基本は、相手側に主体性を持たすこと、日本側の対応を一体化させることの二つだ。

まず、彼らの主体性確立に向けた努力だ。彼国での排水基盤整備は、彼国が今後真の近代国家として成長してゆくための必須条件だ。当然ながら、どんな手段を講じるとしても、一朝一夕ではなしえぬ事象だ。その国家目標に向け、日本が保有する世

界最高水準の推進技術を活用するとしても、単に日本から購入、導入するに留まらず、彼ら自身が習得してゆかなければ、事業としての永続性や成果は得られない。彼ら自身が主体性を持ち、技術習得から始め、自らの手で彼国の実情に合わせた形態、仕様に発展させてゆくことが肝要だ。そこで、日本推進業界の立場は如何なるべきか。正に、優しきティチャーであり、良きトレーナーだ。

そんなことをしたら、彼らに我らの技術を易々と盗まれてしまうのではないかと、危惧する者もあろう。何と気弱な発想か。日本で60余年を掛けて培った世界最高水準の推進技術は手易くコピーされるものではない。むしろ、彼らに寄り添うことにより、日本の推進技術に新たな進展が芽生え、次のビジネスチャンスを生むことになる。これぞ“ウィン・ウィン”だ。

次に、日本側対応の一体化だ。日本の推進業界にとって、彼国の排水基盤整備事業に始まり、水道、電力、通信など多くの地下パイプライン基盤整備事業は、かつて経験しない大きな市場となるであろう。当然、この膨大な市場の魅力に引かれ、欧米はもとより、中国、韓国、台湾、タイなどの近隣競合国も参入を試みる

はずだ。そこで、日本の各推進関連企業が、個々の企業経営上の事情と戦略のみ判断で、この市場で売りたいもの、売れるものを持ち込んだらどうなるか。しかも、価格のみを勝負とし、規格バラバラの中古掘進機を売りさばこうとしたらどうなるか。かつて30年前の台湾での事象が反面教材となるはずだ。しかも、それを受ける彼国の推進業界の統制ある発展は望むべくも無い。個々の日本推進関連企業が注ぐ努力と誠意は、彼国にとって作用と反作用が合い混じり、混乱を生むだけだ。そのためには、日本推進業界の総意と総力の結集が不可欠であり、その受け皿こそ「推進・チーム日本」だ。

チームの総力は、個々の選手の実力の総和よりも大きくなるはずだ。ラグビーでの“ワン・フォーオール、オール・フォーワン”の精神だ。そこにエースも控えもない。また、チームの総力は、グラウンドで直接プレーする選手の実力だけでは測れず、それを温かく支えるサポートの力が必須だ。国内業務に留まる推進関連企業こそ「推進・チーム日本」の大切なサポートだ。

(編集委員長 石川和秀)

No-Dig Today

No.91 2015 Apr. 平成27年4月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会
発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F
TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975
発行人：安中徳二
印刷所：株式会社 LSブランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料(税込み)

1冊 1,620円(本体1,500円)〒400円
1ヵ年(4冊)6,480円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会にて選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2015 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。